



M03 鈴鹿高等学校自然科学部

〒513-0831
三重県鈴鹿市庄野町1260
Tel: 059-378-0307(代)

鈴鹿川の現状を地域に発信し、綺麗で魚の豊富な鈴鹿川を復活させる原動力になることを目標に、水質や生物の調査、そして国の天然記念物であるネコギギの分布調査を実施しています。また、これらの調査結果を学会や審査会のほか、地域での様々なイベントにおいて発表することによる、啓発活動を行っています。



M01 伊賀ふるさとギフチョウネットワーク

〒518-0625
三重県名張市桔梗が丘5-1-31
Tel: 0595-65-1014
URL: <http://www.geocities.jp/luehdorfia2004/>

三重県のギフチョウ産地が伊賀地方だけになり、その伊賀においても多くの生息地で絶滅しているため、ギフチョウが飛び交う里山環境の保全を目標として設立されました。生息地の草刈り、普及啓発活動、観察会の実施、生息調査、天然記念物指定地の巡回監視、絶滅が危惧される地域での採集自粛勧告活動等を行っています。



M04 NPO法人 多度自然育成の会

〒511-0123
三重県桑名市多度町北猪飼宇野添582-1
Tel: 0594-48-5659

環境にやさしい町づくりのための環境啓発運動や美化活動等を通じて、地域住民の福祉の向上に寄与することを目的としています。国の天然記念物に指定された「多度のイヌナシ自生地」に下草や灌木が繁茂し、生育への悪影響が確認されたため、一般市民に呼びかけての下草伐採活動を年に2回実施しています。



M02 志摩半島野生動物研究会

〒517-0704
三重県志摩市志摩町越賀555 中村方
Tel: 0599-85-3744(中村) 090-8957-9288(若林)
E-mail: ikuowaka@amigo2.ne.jp
URL: <http://www.shima-yaseiken.sakura.ne.jp/>

豊かな自然を保全し、多くの人が身近な自然の大切さを理解し、自然保護について考えてもらうことを目標にし、志摩半島を中心に野生動物の生息状況を調査し、野生動物とその生息環境の保護・保全に取り組んでいます。現在は主にアカウミガメの産卵状況調査や混獲、ストラレンジング調査のほか、外来種であるユッカランの駆除等も実施しています。



M05 東海タナゴ研究会

〒510-1231
三重県三重郡菟野町神森1029 淡水魚研究センター内
Tel: 090-3726-3514(北島)
E-mail: kazetoge@gmail.com
URL: <http://toukai-tanago.web.fc2.com/about/tokai.html>

メンバーは学生や若い研究者が中心です。ため池の池干しなど、地域住民による生物多様性保全を目的とした科学的な里川管理を構築するため、保全の前提となる生態学的な調査とそれに基づく具体的な保全・復元活動や啓発活動、持続可能性をキーワードに身近な自然を軸としたまちづくりへの提案を行っています。来年1月にはCOP10をふまえ「第5回全国タナゴサミット」を開催予定です。



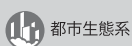
生態系の分類



森林生態系



農地生態系



都市生態系



陸水生生態系



沿岸・海洋生態系

希少種の分類



植物



哺乳類



鳥類



爬虫類

M06 野登清友会

〒519-0223
三重県亀山市安坂山町1607
Tel: 0595-85-0859

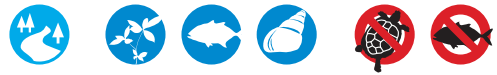
子どもの頃から慣れ親しんできた安楽川あんらくの自然を後世に残したいという想いから、人と自然の共生を目標に山や川の自然資源の維持保全を行っています。特に、安楽川に生息するネコギギの保全を行うために、生息調査への協力や川の清掃作業を実施するほか、観察会などの普及啓発活動や、行政への提言も行っています。



M09 水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座

三重県亀山市
E-mail: uoza_suzukagawa@yahoo.co.jp
URL: <http://www.ztv.ne.jp/web/cherry/>

水辺について考え、行動を始めることにより、その環境を改善し、身近に親しめる豊かな自然と生態系を持つ水辺を取り戻したいと活動を開始し、鈴鹿川及び中の川水系(又は流域)において、水生生物の生息及び遡上環境の改善を目的とした魚道整備促進活動、在来魚保護活動・外来魚駆除活動、魚類相調査等を実施しています。



M07 三重県伊勢建設事務所宮川下水道室

〒516-8566
三重県伊勢市勢田町622
Tel: 0596-27-5195

下水道浄化センター建設予定地で発見されたヒメマイトトンボを保全するため、2003年に発見された生息地の隣にヨシを移植し、新たな生息地を創出しました。またその効果検証のためにモニタリング調査を継続実施したところ、2006年には個体数が回復したことから、ミティゲーションは成功したと考えています。また、研究会や観察会を実施するなど、啓発活動も行っています。



M10 宮川用水土地改良区 管理課

〒516-0009
三重県伊勢市河崎1-11-8
Tel: 0596-28-6155
E-mail: info@miyagawa.cc
URL: <http://miyagawa.cc>

宮川用水事業により建設された灌漑施設の維持管理を行うため設立されました。調整池工事の際に、環境省指定準絶滅危惧種ミズニラの生息が確認されたことから、工事範囲外の溜め池への一時移植を行い、調整池工事完了後に元の位置へ再移植を行いました。また、オオクチバスの生息する池の水を抜いて、外来魚駆除活動を行いました。



M08 三重県立四日市西高校自然研究会

〒512-1211
三重県四日市市桜町6100
Tel: 059-326-2010(代)
E-mail: nishiko@424hs.jp (代)

三重県北部の河川を対象に、湧き水生態系に生息する生物の生活史研究、希少生物の生活史解明と保護活動、物理・化学的環境の測定(水温、水質、湧水流出量、流速など)、湧き水生態系における食物連鎖の解明などを行っています。また、自然保護団体が主催する外来魚駆除のための溜め池干しに定期的に参加しています。



M11 四日市ウミガメ保存会

〒510-0017
三重県四日市市羽津町2-16
Tel: 090-5111-0297(森)
E-mail: welkameyokkaichi@kame-kamehakubutukan.com
URL: <http://ameblo.jp/kame-kame/>

「ウミガメを通して地元の自然環境を守るとともに人の輪を広げていこう」を活動テーマに、地元役場や連合自治会とタイアップして設立されました。2003年アカウミガメの産卵・孵化が確認された吉崎海岸の産卵地保全を目的とした月1回の清掃活動や、自然や環境に関する専門家を講師に招いての勉強会開催などを行っています。



M12 NPO法人 流域環境保全ネットワーク

〒519-2143
三重県松阪市中万町1281
E-mail: kanri@ryuiki.net
URL: <http://ryuiki.net/>

会員の中心である学識者の調査研究活動により得られた科学的な根拠に基づく流域環境の保全策の提案や、地域住民や行政と協働しての保全・復元活動により、地域社会の活性化と健全な自然観を育成することを目的としています。農業用水路の生きものや、濃尾平野のイタセンバラなどの生息実態調査を行っています。



I02 石川の里山生物多様性保全再生事業推進協議会

〒920-8580
石川県金沢市鞍月1-1 石川県環境部自然保護課
Tel: 076-225-1477
E-mail: e170500@pref.ishikawa.lg.jp

市民団体や研究機関、行政等が協働し、石川県内の里山の保全・再生のため、ギフチョウ等の生息地となっている金沢市の丘陵地において、雑木林や竹林の整備を行っています。また、シャープゲンゴロウモドキなどが生息する奥能登地区において、アメリカザリガニなどの外来種の防除やビオトープの整備などを実施しています。



I03 かが里山イヌワシの森再生協議会

〒922-8622
石川県加賀市大聖寺南町二41
加賀市地域振興部環境課自然保護係
Tel: 0761-72-7886
E-mail: shizenhogo@city.kaga.lg.jp

石川・福井県境の南加賀地域では、過去にイヌワシの生息が確認されていましたが、近年、確認ができなくなっています。そこで、イヌワシ等の大型猛禽類が生息できる森を再生するため、行政や研究機関、企業が協働し、イヌワシの生息状況を調査するとともに、生息環境の整備として、間伐等の林業整備を実施しています。



I01 石川県夕日寺健民自然園

〒920-0823
石川県金沢市夕日寺町ハ-116
Tel: 076-251-7554
E-mail: yuuhidera@bz03.plala.or.jp
URL: <http://www.pref.ishikawa.jp/sizen/satoyama%20new/yuuhidera1.htm>

都市周辺に位置し、身近な里山として県民に親しまれています。放置された棚田を改修し、トンボサンクチュアリーとして活用しているほか、オオムラサキの増殖を目的として、エノキの植樹と保護に努めています。県では、里山活動のモデル施設として、里山の利活用に関する様々な活動を実施しています。



I04 鴨池観察館友の会

〒922-0564
石川県加賀市片野町子2-1 鴨池観察館
Tel: 0761-72-2200
E-mail: kamoike@wbsj.org
URL: <http://www.wbsj.org./sanctuary/kamoike/>

日本有数のガン・カモ類の越冬地で、ラムサール条約登録湿地でもある鴨池の自然を将来に残すために、環境保全活動や普及啓発活動を行っています。冬期に田んぼに水を張って鳥類の冬期間の餌場を作ることや、外来魚の防除を行うほか、自然観察会や、稲作体験などのイベントを行っています。



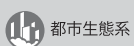
生態系の分類



森林生態系



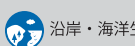
農地生態系



都市生態系



陸水生生態系



沿岸・海洋生態系

希少種の分類



植物



哺乳類



鳥類



爬虫類

105 環白山保護利用管理協会

〒921-2501
石川県白山市白峰ツ57-乙 白山国立公園センター内
Tel: 076-259-2811
E-mail: info@kan-hakusan.jp
URL: http://kan-hakusan.jp

白山国立公園と周辺地域が立場を超えて連携し、協働する組織体です。地元の主体的取組を縦軸に、その支援や新たな仕組みや調査研究などの自主事業を横軸として、自然、景観、文化を保全するとともに、持続可能な地域振興を実現し、美しい白山と元気な白山麓地域を守り育て、後世に受け継いでいきます。



106 美川自然人クラブ

〒929-0204
石川県白山市平加町イ43
Tel: 076-278-3811
E-mail: harinko@tabisuru.com
URL: http://harinko.net/

白山市美川地域の清流・湧水のシンボルであるトミヨを保護し、美川地域の身近な自然と手取川河口流域の生態系を守り、住みよく快適で明るい地域を作るために行動することを目的とするまちづくり団体です。必要に応じて他の団体と交流を図りながら、トミヨの生息地の保全活動や自然観察会、学習会などを開催しています。



F01 アマモマーメイドプロジェクト

〒917-8555
福井県小浜市堀屋敷2-5-2 小浜水産高校
Tel: 0770-52-1950
E-mail: kosakay@yahoo.co.jp
URL: http://blue.ap.teacup.com/amamo/
http://www.obamasuisan-h.ed.jp/

「小浜湾を魚あふれる豊かな海に！」を合い言葉に、小浜水産高校と、地元住民や漁業者らによるアマモサポーターズとが一緒になって協力し、水質の浄化、底質の改善を目的にアマモ場の再生を目指しています。活動は、アマモの定植活動、分布調査や定植方法の開発などの調査研究、環境に関する講演や出張授業などの啓発活動を実施しています。



107 森の都愛鳥会

〒920-0813
石川県金沢市御所町1-282
Tel: 076-252-1051
E-mail: hon-ma@nifty.com
URL: http://momia.exblog.jp/

1970年代身近な生きものが姿を消し、公害列島と化す日本に危機感を持ち、金沢を中心に活動を開始しました。毎月の例会バードウォッチングの開催、辰巳ダム建設予定地である相合谷でのミゾゴイ営巣調査、ミサゴ・コアジサシの営巣調査、バイカモが生育する池の整備、フクロウの巣箱掛けなど、多岐にわたって活動をしています。



F02 NPO法人 ウェットランド中池見

〒914-0047
福井県敦賀市東洋町6-37
Tel: 0770-23-5003
E-mail: scasasaki@rm.rcn.ne.jp
URL: http://nakaikemi.jp/

中池見湿地の環境保護・保全事業を行ない、自然環境教育の場として社会教育やまちづくりの推進を図ることを目的としています。環境省事業「重要生態系監視地域モニタリング推進事業」里地分野コアサイトとして調査事業5年目で、貴重種保全や外来種駆除等の活動、学校・各種団体の体験学習や観察会支援等を実施しています。



F03 永平寺川にサケ・サクラマスの上を遡上を実現する会

〒910-1212
福井県吉田郡永平寺町東古町7-1-1 小林義親 方
Tel: 0776-63-2194

昔のような魚が多く生息し、サケやサクラマスが遡上する川を取り戻したいという想いから、魚道の設置を県に働きかけ、平成22年6月までに魚道が3基完成しました。また、稚魚の放流や産卵場所の造成、河道の整備(草刈り、石の移動)を行うとともに、子どもの親水活動として、観察会や釣り大会を実施しています。



F06 治佐川とトミヨを守る会

〒915-0011
福井県越前市上真柄町44-6
Tel: 0778-27-1507
E-mail: jisagawa@cotec-inc.co.jp
URL: <http://www.ajimano.net/jisakawa.htm>

湧水起源の治佐川は、トミヨの生息地の南限となっています。この清流を保全し、トミヨやバイカモをはじめとする様々な生物が未永く生息することを目的に、河川の清掃や管理、湧水の枯渇対策のほか、地域住民に対する研修会等の普及啓発活動を実施しています。



F04 大野イトヨの会

〒912-0054
福井県大野市糸魚町 8-44 大野イトヨの会事務局
Tel: 0779-65-5104

湧水池である本願清水は陸封型イトヨ生息地の南限として国の天然記念物に指定されています。当会は、行政や市民団体、地域住民などと協力し、このイトヨの保全を通して住みよい環境づくりを推進することを目的として、イトヨや水源の保全活動、シンポジウム等の普及啓発活動を実施しています。



F07 NPO法人 中池見ねっと

〒914-0005
福井県敦賀市樫曲79奥堀切 中池見人と自然のふれあいの里気付
Tel: 090-8269-9801
E-mail: masuda.sigeru@amber.plala.or.jp
URL: <http://www6.plala.or.jp/nakaikeminet/>

中池見湿地の保全と管理に関する事業などを行い、絶滅危惧種を含む生物多様性の保全及び湿地の持続可能な利用を図り、自然と人間が共生できる豊かな社会の実現を目的とし、2010年からは、敦賀市の「市民による中池見の管理・運営・活用事業」を受託し、貴重種保全や外来種駆除等、中池見湿地の保全管理にあたっています。



F05 サクラマス・レストレーション

〒910-1142
福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島34-3-7
Tel: 090-8095-3273
E-mail: nami@amaya.ac.jp
URL: <http://sakuramasu-r.org>

九頭竜川においてサクラマスが自然再生産するための保全活動を実施しており、全国から九頭竜川に足を運ぶ熱き想いのフライ・フィッシャーたちが、活動の中心となっています。活動の内容としては、産卵場の造成、工事前の卵の移動、工事後のモニタリング、河川環境学習の実施や普及啓発を兼ねたフィッシングスクールの開催などを行っています。



F08 福井県両生爬虫類研究会

〒915-0041
福井県越前市葛岡町2-6
Tel: 0778-23-0328
E-mail: ganchan2@gh.ttn.ne.jp

環境庁の保護増殖事業の実施者として発足したアベサンショウウオ研究会が、平成12年に福井県両生爬虫類研究会と改名して発足しました。両生類の生息状況調査、遺伝子解析、伝染病調査、産卵地整備、公共事業に対する助言・指導、市民への普及啓発や社会教育等の活動を行っています。また、産卵地での外来種駆除等も実施しています。



F09 水辺と生き物を守る農家と市民の会

〒915-1204
福井県越前市都辺町36-84 しらやまいこい館内
Tel: 0778-29-2811
E-mail: mizubenokai_ikoikan@yahoo.co.jp
URL: <http://www.abechan.org/>

福井県越前市西部の白山・坂口地区にはアベサンショウウオをはじめとする多くの希少な野生生物が生息しています。わたしたちは、人も生き物も元気な里地里山づくりを目標に、これらの希少種を保全し、人間生活との共生を図ることで、自然・農業そして文化等の相互作用によって、里地里山の活性化を図るため、活動しています。



F10 若狭町産業課

〒919-1393
福井県三方上中郡若狭町中央1-1
Tel: 0770-45-9102
E-mail: sangyo@town.fukui-wakasa.lg.jp
URL: http://www-new.town.fukui-wakasa.lg.jp/town/category/category_list.asp?Cate1=1&Cate2=4

三方五湖ではオオクチバスが確認され、生態系や漁業への悪影響が懸念されています。若狭町では、釣ったオオクチバスをリリースせずに駆除に協力していただけるよう「外来魚駆除協力券」の発行を行っています。このような啓発活動によって、オオクチバスを駆除し、三方五湖の自然環境及び生態系の保全に努めていきます。



F11 若狭三方縄文博物館

〒919-1331
福井県三方上中郡若狭町島浜122-12-1
Tel: 0770-45-2270
E-mail: jomon@town.fukui-wakasa.lg.jp
URL: <http://www.town.fukui-wakasa.lg.jp/jomon/>

博物館設立当初から、縄文に学ぶとして“循環と共生”をコンセプトに環境活動に取り組んでいます。三方五湖周辺の植物・鳥類・両生類・魚類の希少種保全活動として、生息調査、生息地保全、観察会（県と共同開催）、環境学習会、パンフレット発行等を行っています。また、外来種であるウシガエルの駆除も実施しています。





3冊で1セットです。

<http://chubu.env.go.jp/>

中部地方環境事務所のホームページより「COP10」の情報をご覧になることができます。



環境省
中部地方環境事務所

〒460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸2-5-2

TEL:052-955-2139 FAX:052-951-8919

CBD/COP10 記念イベント

生物多様性 里山知事サミット

— 里山、里海の利用・保全と地域活性化 —

2010年 **10月19日** (火) 15:00-18:00

名古屋駅前 ミッドランドホール 名古屋市中村区名駅4-7-1ミッドランドスクエア5F



A CBD/COP10 Related Event

Biodiversity Governors' Summit:

Satoyama and Satoumi Use and Conservation • Revitalizing Local Communities

19 October, 2010 Tuesday, 15:00-18:00

Midland Hall, in front of Nagoya station 5F Midland Square, 4-7-1 Meieki, Nakamura-ku, Nagoya-shi



武内 和彦

国際連合大学副学長

Kazuhiko Takeuchi
Vice-Rector,
United Nations University



神田 真秋

愛知県知事

Masaaki Kanda
Governor,
Aichi Prefecture



谷本 正憲

石川県知事

Masanori Tanimoto
Governor,
Ishikawa Prefecture



井戸 敏三

兵庫県知事

Toshizo Ido
Governor,
Hyogo Prefecture



田口 宇一郎

滋賀県副知事

Uichiro Taguchi
Vice-Governor,
Shiga Prefecture



大村 慎一

静岡県副知事

Shinichi Omura
Vice-Governor,
Shizuoka Prefecture

本シンポジウムは、一般の方々に無料で参加していただけます。

日英の同時通訳が入ります。

イベントの詳細及び参加登録については、ウェブサイトをご覧ください。

This event is free and open to the public. Simultaneous Japanese/English interpretation will be provided.

For more information and to register for this symposium, please visit the event website.

www.geoc.jp/partnership/international/

Tel 03-3407-8107 (GEOC)



UNITED NATIONS
UNIVERSITY



Global Environment Outreach Centre
地球環境/パートナーシッププラザ



環境省
Ministry of the Environment

主催：国際連合大学、地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)、環境省/後援：愛知県、石川県、滋賀県、静岡県、兵庫県、東京大学サステイナビリティ学連携研究機構(IR3S)、(社)日本造園学会、日本生態学会、環境パートナーシップ・CLUB
Organizers: United Nations University, Global Environment Outreach Centre (GEOC), Ministry of the Environment Japan (MOE)
Supporters: Aichi, Ishikawa, Shiga, Shizuoka and Hyogo Prefectural Governments, The University of Tokyo, The Integrated Research System for Sustainability Science (IR3S), Japanese Institute of Landscape Architecture, Ecological Society of Japan, Environmental Partnership Organizing Club.

CBD/COP10 記念イベント

生物多様性里山知事サミット

— 里山、里海の利用・保全と地域活性化 —

A CBD/COP10 Related Event

Biodiversity Governors' Summit:

Satoyama and Satoumi Use and Conservation • Revitalizing Local Communities



私たち人間の生命と暮らしは、食料、衣料品、木材や医薬品の供給、災害防止など、生物多様性からの恵みによって支えられています。しかし、この生物多様性は、私たち人間による大規模な開発や乱獲、外来種の導入、人の関わりによって維持されてきた二次的自然である。里山の手入れ不足などにより、様々な危機に直面しています。

2010年10月に生物多様性条約第10回締約国会議(CBD/COP10)が愛知県名古屋市で開催されるにあたり、10月19日に里山・里海の利用・保全と地域活性化において先進的取り組みを行っている愛知県、石川県、兵庫県、滋賀県、静岡県の知事・副知事、研究者、専門家等を招いて、国際シンポジウム「生物多様性 里山知事サミット — 里山・里海の利用・保全と地域活性化 —」を開催します。本会議では、各自治体の里山・里海の保全・活用の取り組みについて紹介すると共に、里山・里海の生態系を利用することでグローバルイゼーションや高齢化の深刻な影響を受けている地域社会を活性化するための方策などについても議論する予定です。

本シンポジウムは、一般の方々に無料で参加していただけます。

日英の同時通訳が入ります。

イベントの詳細及び参加登録については、ウェブサイト (<http://www.geoc.jp/partnership/international/>) をご覧ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

Humanity has been blessed with a wide range of benefits from biologically diverse ecosystems including the provision of food, clothing, wood, pharmaceutical products and natural disaster prevention. Global biodiversity, however, is in serious danger due to human activities such as large scale development, the overexploitation of natural resources, the introduction of alien species, and a lack of appropriate maintenance of secondary nature such as *Satoyama* which needs to be developed and maintained sustainably.

The tenth meeting of the Conference of the Parties to the Convention on Biological Diversity (CBD/COP10) will be held in October, 2010 in Nagoya, Aichi. The Biodiversity Governors' Summit, an international symposium, will be held on 19 October in which governors and vice governors from Aichi, Ishikawa, Hyogo, Shiga, Shizuoka, and as well as academics and experts, will present their approaches and actions for the conservation of *Satoyama* and *Satoumi* and its contribution to the revitalization of local communities. Participants will also discuss how we can activate communities which are influenced by the serious impacts of globalization and aging through the development and cultivation of *Satoyama* and *Satoumi* ecosystems.

This event is free and open to the public.

Simultaneous Japanese/English interpretation will be provided.

For more information and to register for this symposium, please visit <http://www.geoc.jp/partnership/international/>

主催：国際連合大学、地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)、環境省/後援：愛知県、石川県、滋賀県、静岡県、兵庫県、東京大学サステナビリティ学連携研究機構 (IR3S)、(社)日本造園学会、日本生態学会、環境パートナーシップ・CLUB
Organizers: United Nations University, Global Environment Outreach Centre (GEOC), Ministry of the Environment Japan (MOE)
Supporters: Aichi, Ishikawa, Shiga, Shizuoka and Hyogo Prefectural Governments, The University of Tokyo, The Integrated Research System for Sustainability Science (IR3S), Japanese Institute of Landscape Architecture, Ecological Society of Japan, Environmental Partnership Organizing Club.

